

教科「理科」

科目「生物基礎探究」

類型（3年文型 選択履修）

単位数	2単位
担当者	八鍬拓司、伊藤 薫、辻 浩子
教科書	改訂 生物基礎(東京書籍)
副教材等	フォトサイエンス生物図録(数研出版) ニューステップアップ生物基礎(東京書籍)

【1】科目の目標

- ①探究活動を行い、学習内容を深めるとともに、科学的に探究する能力を高める。
- ②日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方ができるようになる。

【2】科目の内容と進め方

- 1学期：1年次で学習した生物基礎の復習。
- 2学期：問題演習やテーマに沿ったグループ学習で生物基礎の学習に関する理解を深める。
- 3学期：生物基礎の総まとめを行い、センター試験に向けた問題演習を行う。

【3】学習形態

生物を総合的・体系的に学習する。教科書を中心とし基本事項の定着を図り、適宜問題演習を通して応用力を養成する。講義や問題演習と解説が中心であるが、実験やグループワークも適宜行う。また、必要に応じて ICT 機器などを活用する。

【4】学習上の留意点

授業を大切にするとともに、センター試験を意識しながら学習内容が理解できるよう問題演習等に積極的に取り組むこと。図や表・写真などを見ながらイメージを作って理解できるように意識してほしい。学習プリントや問題集、テスト等を活用して学習内容の理解を深めること。

【5】評価の方法と評価の観点

① 評価の観点

- (1) 関心・意欲・態度：自然の事物・現象に関心や探求心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
- (2) 思考・判断・表現：自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
- (3) 観察・実験の技能：観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
- (4) 知識・理解：自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

② 評価の方法

- (1) 授業への取り組み：授業に対する姿勢、学習態度、生物学への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に関心・意欲・態度の項目を評価する。
- (2) ノートの記載内容：観察・実験の記録とともに、授業内容を適切にまとめているか、科学的な思考ができているかなどを評価する。
- (3) 教科書・問題集の問題：各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。
- (4) 考査：学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、思考・判断、知識・理解に関する配分がもっとも大きい。定期考査および課題テストの成績と実験レポートや課題等の提出を総合して評価する。

【6】その他

センター試験に向けた問題集を別途購入してもらいます。

生物基礎は体のことや身の回りの環境など私たちの身近な内容に関わる学習です。なぜそうなるのだろうという視点を持ちながら、より探究的に学習してほしいと思います。